

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 20 年 12 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

- ・地震や微動の発生状況（図 2）
火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・噴気など表面現象の状況（図 3～4）
4 日に陸上自衛隊東北方面總監部の協力を得て実施した上空から観測では、女岳山頂部の噴気や地表面の温度分布¹⁾の状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

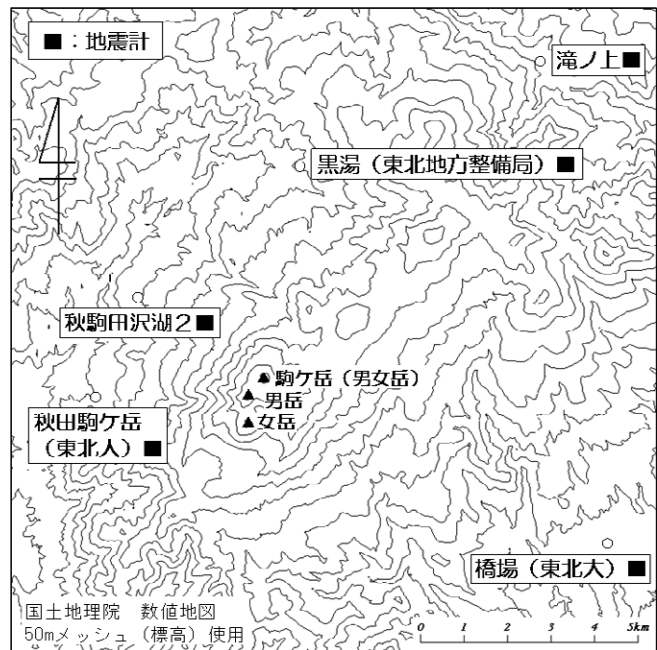


図 1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

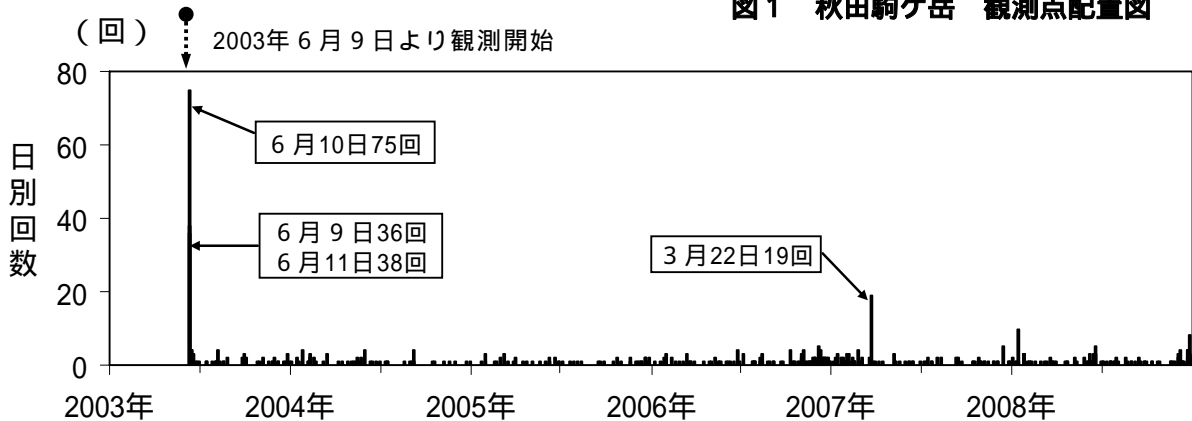


図 2 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003 年 6 月 9 日～2008 年 12 月）

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月分）は平成 21 年 2 月 6 日に発表する予定です。

資料は気象庁のデータその他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

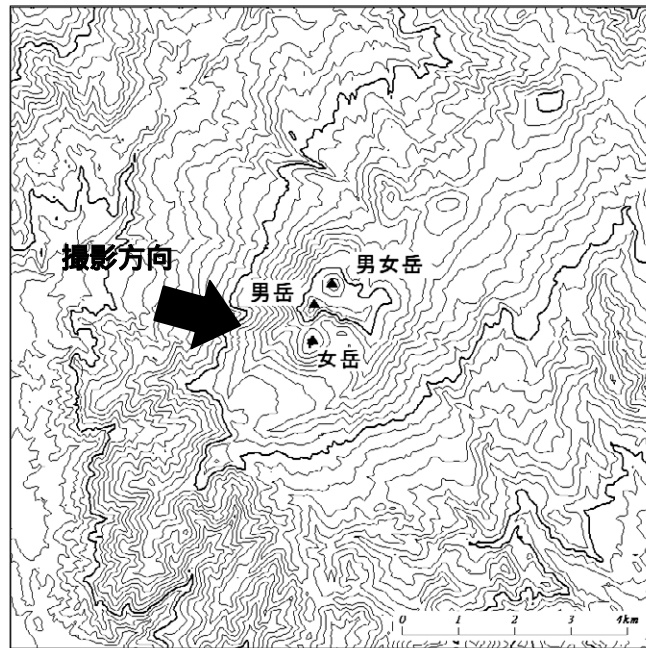
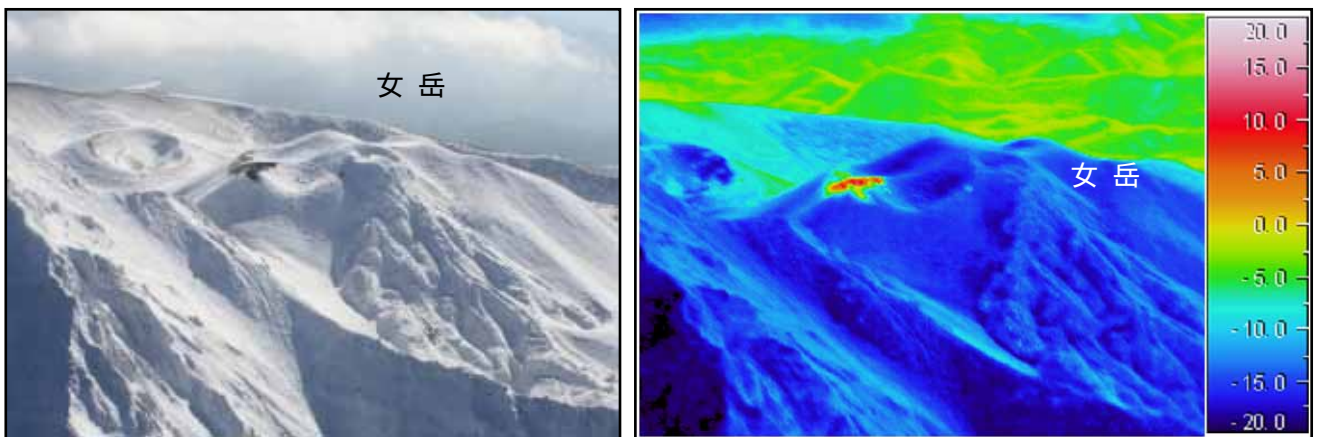


図3 秋田駒ヶ岳 撮影方向



可視画像

赤外画像

図4 秋田駒ヶ岳 女岳山頂部(2008年12月4日)